

# 「ひとり親世帯に直接支援を…」 フードバンクや行政を巻き込む、 米どころ新潟の 親子支援プロジェクト

にいがたお米プロジェクト

事務局長 細野弘康

# 登壇者紹介

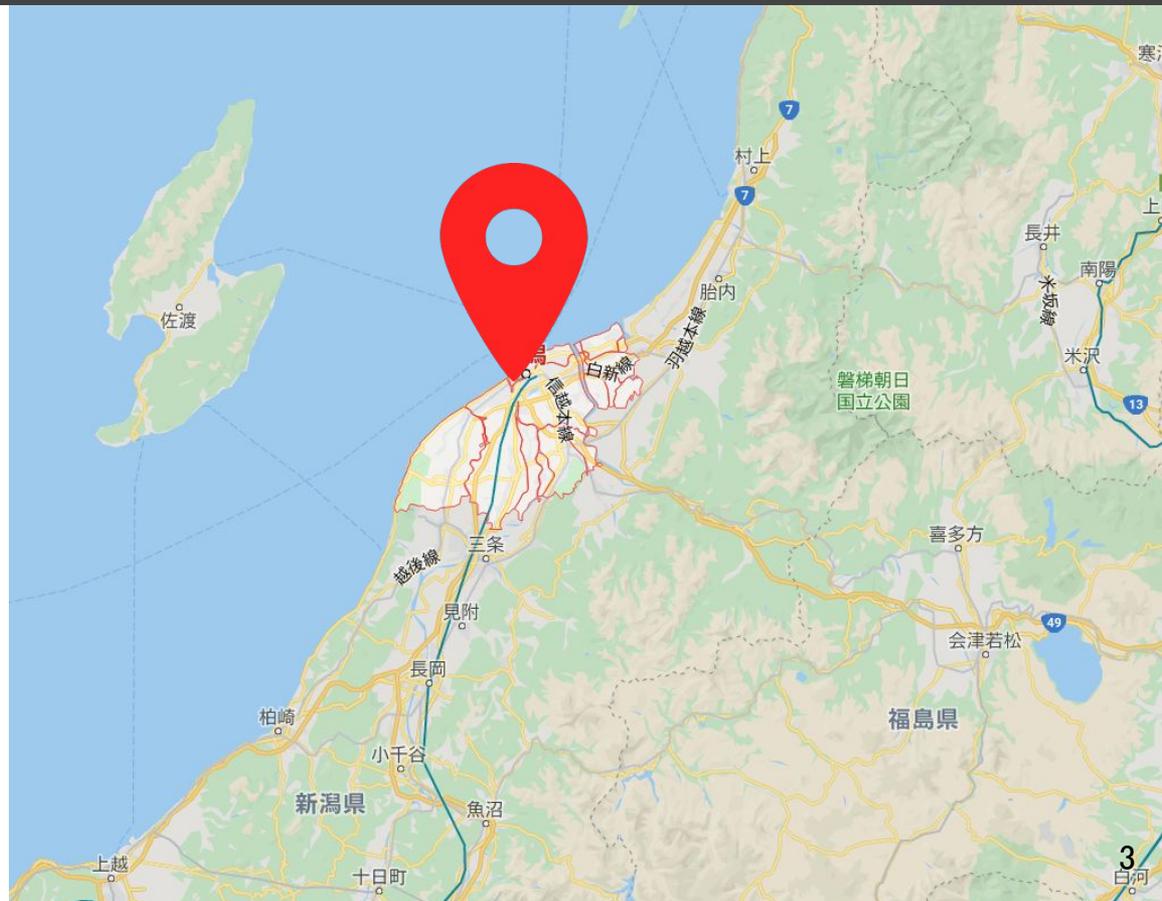


にいがたお米プロジェクト  
事務局長

## 細野弘康

- 立憲民主党・新潟市議会議員(新潟市東区)
- 2016年から、東京都豊島区の「豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」を参考に、新潟市東区で妻やボランティアとこども食堂「こどもの茶の間」を立ち上げ。いまでは毎回60名の親子が参加する規模に。
- 2018年から、新潟市で「にいがたお米プロジェクト」の立ち上げを行い、事務局長。

# 実施している地域 新潟県新潟市東区



# 実施している地域 新潟県新潟市東区



区の人口

13.7万人

児童扶養手当  
利用世帯

1,300世帯

面積

38km<sup>2</sup>

事業を始めたきっかけ

# 事業につながる3つのキーワード

市議選で落選・・・

60人が集まる子ども食堂を運営して

フードバンクでピンポイントの支援ができず

# にいがたお米プロジェクト



# 事業の概要

にいがたお米プロジェクトを一言でいうと...

**フードバンクからお米の供給を受け、  
ボランティアと有志のメンバーで  
児童扶養手当の利用家庭100世帯に  
食品と”安心”を届けるプロジェクト**

# にいがたお米プロジェクトではこんなことをやっています。

対象世帯

新潟市東区の児童扶養手当を  
利用している世帯(約5千世帯)

世帯数

**100** 世帯 / **1,300** 世帯

配送食品

お米5kg (あるとき缶詰など)

配送頻度

毎月  
(実績: 初年度累計1,200世帯分配送)

# ヒト、モノ、カネ、こんな風に運営しています。



事務局  
メンバー

**3**名

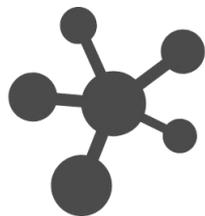
新潟ライフサポートセンター・市議会議員など3名が**無償ボランティア**で「**にいがたお米プロジェクト**」の事務局運営を担う。



配送  
ボランティア

**15**名

呼びかけて有志で集まった**ボランティア15名**が毎月、食品の自宅までの配送を行う。  
同じ家庭を担当する担当制(一人5~10世帯を担当)。



連携支援者・  
支援団体  
**連携先  
検討中**

緊急の食料支援リクエストには事務局で対応。  
過去に家庭からの相談があり、**パーソナルサポートセンター**と連携し対応を行った事もある。

# ヒト、モノ、カネ、こんな風に運営しています。



年間  
**6t**

毎月の配送量はお米5kg/世帯。  
県内最大の**フードバンクにいがた**の協力により、お米や食品の供給を受ける(お米の供給:約6-7トン/年)。



食品寄付  
企業など  
**開拓中**

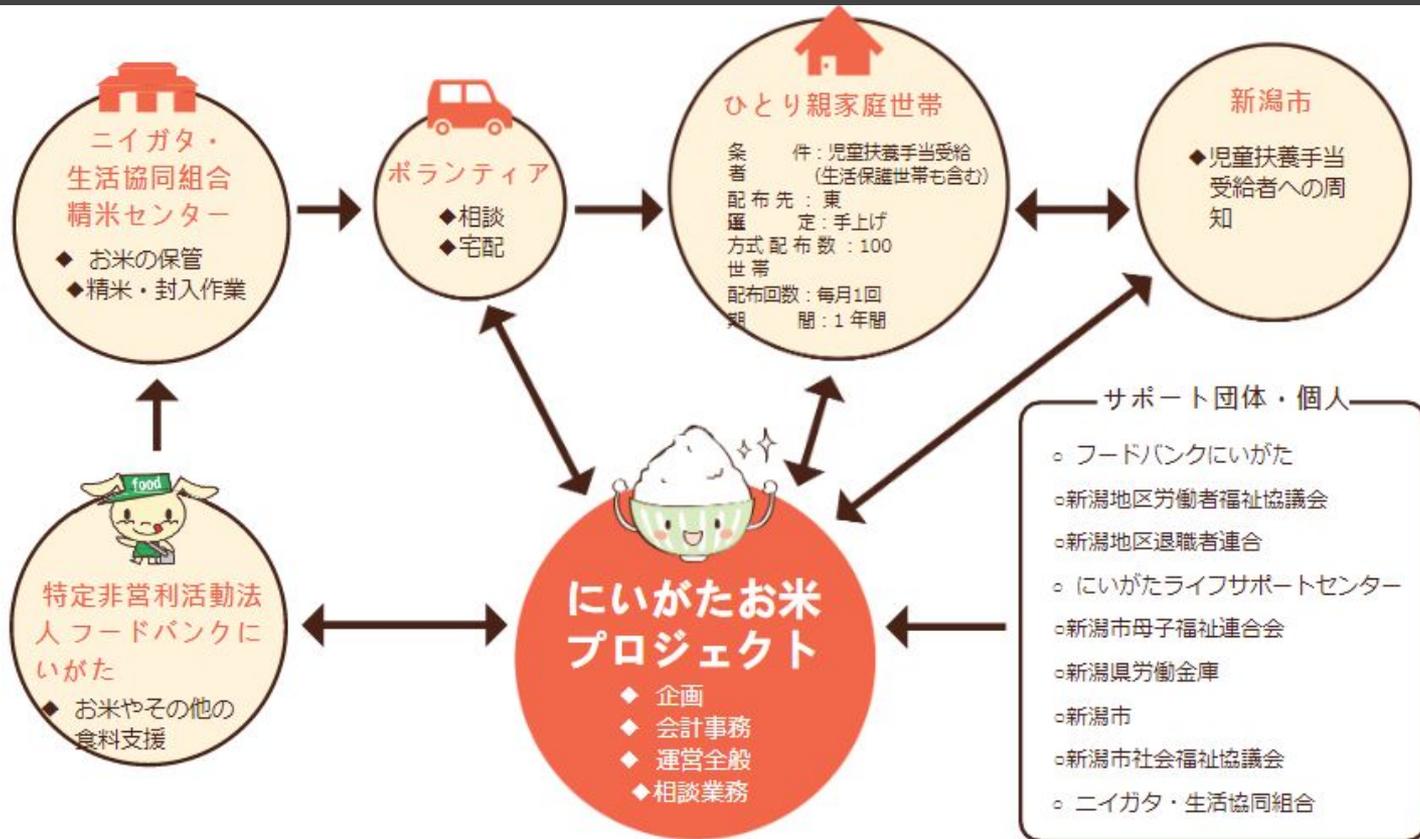
**おてらおやつくらぶ・新潟市社会福祉協議会**など  
から食品の提供あり。今後も協賛企業を開拓したい。



年間  
**50**万円

立上資金:民間の助成金や地域のからの寄付  
運営資金:助成金(ただし3年間)

# にいがたお米プロジェクト組織図



# 事業活動の詳細

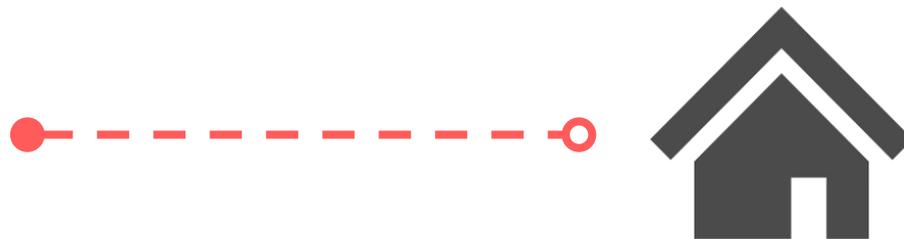
# にいがたお米プロジェクトの活動の詳細

家庭と  
つながる

食品を  
とどける

支援に  
つなげる

家庭と  
つながる

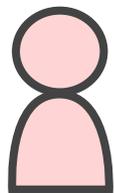


# 利用家庭との接点の持ち方

プロジェクト事務局

新潟市

1. 現況届の通知にチラシを同封



2. 児童扶養手当の受給証明と一緒に郵送で申し込み

3. 利用者用LINEをご家庭に連絡



10月5日～26日  
の申込受付期間まで  
大切に保管してください

毎月無料でお米をお届けします

# にいがたお米プロジェクト

第2期  
が始まります!



新潟市**中央区**または**東区**にお住まいの児童扶養手当を受給している120世帯に毎月無料でお米を1年間お届けする新潟県内初の取り組みです。

イベント1

毎月1回無料で  
精米したお米  
5kgをお届け  
します。



イベント2

研修を受けた  
ボランティアさんが  
ご自宅へお届け  
します。



対象者	(1) 新潟市中央区または東区にお住まいの児童扶養手当を受給している方 (2) お届け日(毎月第3日曜日16:00～19:00の間)にご自宅でお米の受取りが可能な方
料 金	無料(全て寄付で賄われていますので、利用者には一切の経費負担はございません)
申込期間/日数	1年間(2019年11月～2020年10月)毎月1回/第3日曜日16:00～19:00の間
お問い合わせ	下記に記載の電話またはメールアドレスにご連絡ください。



- 同封の参加申込書に必要事項を記入
- 令和元年度の児童扶養手当証書をコピー
- ①②を返信用封筒に入れて郵送

申込締切/2019年10月26日(土)消印有効

※応募者多数の場合は抽選を行います。当選発表は通知の発送をもってかえさせていただきます。



主催団体・お問い合わせ/  
**にいがたお米プロジェクト事務局** TEL.025-250-6785

〒950-0088 新潟市中央区万代1-6-1 バスセンタービル3F FAX.025-255-6017 メールアドレス: niigataokomeproject@gmail.com

サポート団体/ 特定非営利活動法人 フードバンクにいがた・新潟地区労働者福祉協議会・新潟市社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会・新潟市母子福祉連合会・新潟県労働金庫本店営業部



# ご家庭との普段のコミュニケーション

事務局: 今月の配送は○日の予定です!

家庭: いつも配送ありがとうございます

事務局: お米の美味しい食べ方レシピを紹介します。

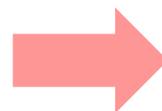
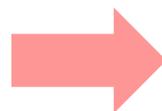
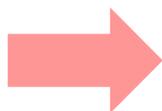


食品を  
とどける



# 食品調達から配送までの流れ

フードバンクにいがたからニイガタ・生活協同組合にお米の提供。



第3日曜日に、ボランティアスタッフが精米されたお米を集荷。

毎月100世帯分を、ニイガタ・生活協同組合が精米、梱包作業。にいがたお米プロジェクト事務局も参加。

ご家庭に直接お届け。

# 事業の課題

## 事業拡大のための安定的な食品の確保

新潟市内に児童扶養手当の利用家庭は約1.3千世帯おり、現在の100世帯でもカバー率は1割。一方フードバンクにいがたの米確保も急拡大は難しい。



米どころ新潟で古米などを中心に、安定的に慈善活動に寄付が集まる仕組みを構築できないか検討中。2019年9月にはこども宅食応援団の助成を申請、JAと連携しお米のフードドライブを実施する越前市に視察を行った。







# にいがたお米プロジェクトの活動の詳細

家庭と  
つながる

食品を  
とどける

支援に  
つなげる

# 「家庭とのコミュニケーション」工夫と課題

	工夫	課題
LINEの利用	LINEビジネスを 導入済	スマホが無い家庭も (LINE導入率 1/4程度)
困りごとシート	「何か相談があったら 書いてくださいね」 用紙を配送時に同封	「どんな相談をしたら いいのか・・・？」家庭側に イメージがまだ無い
支援団体 との連携	パーソナルサポートセンター との連携あり	東区・新潟市や区社協との 連携あり方を模索中

にいがたお米プロジェクト  
を通じて実現したいこと

# アンケートで見えてきた家庭の声

事業への満足度  
(大変満足・満足)

80%

ボランティアの対応満足度  
(大変満足・満足)

96%

毎月お米は大きな出費だったため大変助かっている。子どもが大きくなり、食べる量が増えたのでありがたい。

母子家庭なので将来の不安ごとが多いが、毎月の無料の食品配送が安心感につながり、家庭の雰囲気も良くなった。

- **利用者の不安軽減、相談をきっかけにした課題の解決**
- **発見した問題・予兆を地域社会全体で共有し解決していく  
ネットワーク作り**
- **行政とNPO団体との連携のあり方**
- **県内に同じような事業を広げていけるよう仕組み化・モデル  
事業化**